

SREPORT サステナブルレポート No.65

COVID-19による 廃棄物業界の変化

廃棄物

環境サービス



■ 都内23区のごみ排出量と収集環境に大きな変化

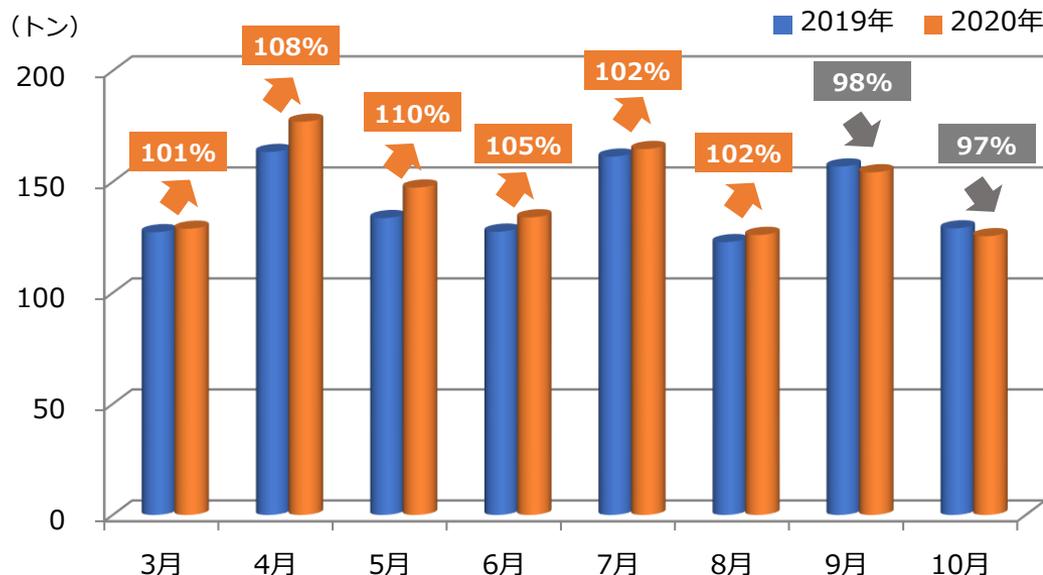
- **家庭ごみ**は2020年3月～8月にかけて前年比**増加**、わずかな割合の変化でも収集遅延が多発。（グラフ参照）
- **事業系ごみ**（一般廃棄物）は前年比**大幅減少**。
（3月86.5%、4月61.5%、5月57.1%、6月76.1%、7月76.7%、8月76.7%、9月79.5%、10月83.1%）
- 一般廃棄物の**収集運搬業者**からは、**人員不足と感染リスク対策**により疲弊困憊の声が多く聞こえた。

■ 集積所から溢れる家庭ごみ



画像：写真AC

■ 家庭ごみ排出量の推移と前年比（都内23区、区収）



グラフ：東京二十三区清掃一部事務組合、「清掃工場へのごみ搬入量の推移」をもとに筆者作成

家庭ごみの処理責任は行政にあり、排出減量が難しい

■ IoTを活用したごみ収集のスマート化事例（中国）

- 生活ごみに占める生ごみは5割を超え、焼却や埋立処分から除くことで、減量と処理効率向上を図る。
- 2019年3月に「生活ごみ分別制度実施計画」を公表。7月に上海市は先行して生活ごみ管理条例を施行し、強制分別を実施。**分別を罰則付きで義務化**した。条例に違反した個人や事業者には罰金を科し、対象はホテルやフードデリバリーなど**使い捨て用品の提供者にも**及ぶ。
- 分別に係る設備では、ボランティアによる説明や顔認証等で不適切投入を防止。アプリ上でポイントを付与し、**換金や景品交換などインセンティブ**を設ける。一方で設置会社の最大手は経営破綻。回収負担は大きい。

■ 上海市内の分別回収ステーション／スマート分別設備



出典：国際環境経済研究所, 2019年撮影, 「中国で進むごみ分別改革とプラスチック規制（第二部）」

分別のハードルに、そもそもごみが出る消費を避ける行動も生まれる

■ コロナ禍に国を問わず増加し続ける医療廃棄物

- 医療廃棄物の不適切処理や長期保管には**二次感染事故**のリスクが生じる。
- 産業廃棄物処理の専門メーカーである中和機工株式会社は、**医療廃棄物用無煙焼却炉**を製造。
- 輸出版売先は、アジアやヨーロッパから、予算や技術、設備、人材等が不足する**開発途上国へ**需要拡大。

■ 医療施設の拡充推進に伴う医療廃棄増加に追い付かない民間の処理業者（モロッコ）



医療廃棄物の長期保管



焼却中も無煙

- 地方中核都市や貧困層が多い遠隔地域の病院からの**収集運搬費は高額**。
- 医療廃棄物は運送途中の感染事故を懸念して、**回収頻度は極端に低く**なる。
- 溢れる医療廃棄物は敷地内で黒煙を伴う**野外焼却**を行うか病院内に**長期保管**するため不衛生。
- 医療廃棄物用無煙焼却炉は医療施設に設置可能。

出典：国際協力機構, 2020年9月10日, 「【新型コロナウイルス感染症に挑む日本企業】煙の出ない焼却炉で医療廃棄物処理に安心安全を」

排出者自らが直面するリスクを理解することで新しい技術が育つ

■ 分別ルールに従いながら、原点である排出抑制の観点を忘れずに

- 日本でも廃棄物の**分別強化**や排出者に対する**一次処理の要請**は大いにありえる。
- 行政や自治体は、段階的な仕組みで**選択肢を増やし**、変革への拒絶反応を緩和することができる。
- 「廃棄＝日常、分別＝特別」から「廃棄＝特別、分別＝日常」への逆転換には、ある程度の**強制力**を要する。

■ コロナ禍でジレンマ、負の連鎖に現行のリサイクル方程式が破綻

- **交通減少や工業停止**によって**原油価格下落**。温室効果ガスの排出減量は大気汚染を一時的に改善。
- 原油価格はプラスチック原料に影響し、再生材よりも安価な**バージン材が消費**される。
- **消費者**は感染リスクを避けて安価なプラスチック製品を**使い捨て**、需要の急増。
- **処理業者**も感染リスクを避けて**焼却・埋立**処分、リサイクル業者は**回収停止**。
- 廃プラスチックの**輸出入規制**も相まって、資源の**国内循環**が処理業者の事業継続を左右する。

■ ごみを減らすことが生産者・消費者・環境行政の三者に利益となる

スウェーデン



国民が出すごみの
9割を有効活用

- 各家庭が収集料金を負担する
- 効率稼働の為に近隣諸国からごみを輸入
- 石油由来燃料に代わる熱を地域暖房へ

サンフランシスコ



4 R'sで
埋立ゼロを目指す

- 4R's = Reduce、Reuse、Recycle、Rot
- Rot = 「腐る」 (生ごみの堆肥化)
- 生ごみの分別収集を義務化



情報提供から実行支援まで
SDGs・ESGの企業対応を
支援しています。

- ✓ 何から取組み始めればいいのかわからない
- ✓ 経営層や社員への浸透に悩んでいる
- ✓ SDGs・ESG投資に関する社内セミナーや社員研修を行いたい

無料!

お問い合わせ／お見積もり

お急ぎの方はお電話で

03-5542-5300

受付時間 9:00~19:30

参照・引用資料

- 東京二十三区清掃一部事務組合, 「清掃工場へのごみ搬入量の推移」, 2020年11月18日
(<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/kanri/covid-19.html>)
- 国際環境経済研究所, 「中国で進むごみ分別改革とプラスチック規制（第二部）」, 2020年3月17日
(<http://ieei.or.jp/2020/03/special201705014/>)
- 開発国際協力機構, 「【新型コロナウイルス感染症に挑む日本企業】煙の出ない焼却炉で医療廃棄物処理に安心安全を」, 2020年9月10日
(https://www.jica.go.jp/priv_partner/information/sdgs/2020/20200910.html)

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先：

SREPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory



全従業員で
毎週更新中

<https://www.sfinter.com/report/>